

2014 春闘勝利総決起集会

「月例賃金の引上げと処遇改善」に全勢力を傾注しよう！

～組織拡大・10万連合福島を早期に実現しよう～

「2014 春季生活闘争勝利・10万連合福島実現キックオフ福島県中央総決起集会」は、3月1日(土)に前日の暖かさから、一気に冬に逆戻りしたような寒さの中、福島市の県庁前東広場において、県北地域の構成組織から約1,200名が参加し開催された。

主催者を代表して影山道幸連合福島会長は「社会が注目する2014年春季生活闘争の最大のヤマ場が10日後に迫っている。社会が、組合員がその結果に大きな期待を寄せている。月例賃金の引上げにこだわり、非正規労働者の処遇改善に向けて全勢力を傾注して交渉し、勝利しなければならない。反転攻勢をかける春季生活闘争と位置づけ、すべての働く者の総意として闘い、様々な社会問題の解決につなげて行かなければならない。併せて、下がり続ける組織率



に歯止めをかけるためにも組織拡大を推進し、10万連合福島を早期に実現しなければならない。連合福島として総力を結集し、最後まで頑張ろうと。」と挨拶した。

そして、増子輝彦民主党県連代表並びに小川右善社民党県連代表のお二人から、ご来賓としてご挨拶を頂いた後、構成組織を代表して、UAゼンセン秋葉宏次長と電機連合渡辺勝男事務局長から、今次春闘に対する取り組みの決意と組織拡大



集会に参加した構成組織の皆さん

に向けての取組み状況が報告された。更に、小野利市連合福島副会長から春闘アピール(案)が、石原浩二連合福島副会長からは組織拡大アピール(案)がそれぞれ提案され、満場一致で採択された。最後に影山会長の力強いガンバロー三唱をもって集会は閉会となった。

集会終了後、本来であればデモ行進の予定だったが、沿道に雪がまだ多く残っていることから、デモ行進は急きょ中止となった。



力強いガンバロー三唱で氣勢をあげる